

令和8年

夏号

萬徳院 釈迦寺

令和8年7月1日 第107号

敬愛

けいあい

発行：萬徳院 釈迦寺 千葉県船橋市高根町 2233-3

☎0120-646-100

最新のお知らせは：<https://www.syakaji.jp>



世間虚仮、唯仏是真

前回・新年号で取り上げた聖徳太子の最も有名なことばです。

仏さまという真実に触れることがあれば、この思慮浅く、移ろいゆく世間にありながら、正しく生き抜くことができる、という教えであると理解することもできます。

お釈迦さまは、次のようにもおっしゃっています。

怨みをいだく人々の中にあつて、慈悲ぶかく、怒らず、怨みなく、われは住まんかな

これは、いまもなお紛争や戦争が各地で生じている、この地球に一緒に住む私たちにとって、最も心すべき教えではないでしょうか。

今年もすでに猛暑日、酷暑日が記録されました。

お身体には十分お気をつけただきますとともに、仏様の教えを通して、日常の生活に香り爽やかな徳風を見いだし、穏やかにお過ごしください。ご祈念申し上げます。

我が生は已に安くあり、怨みを慍らず。

衆人に怨みを懐く者有るも、我れ無怨を行ぜん

『法句譬喻経』安寧品第二十三より



ぎゃてい
羯諦

ぎゃてい
羯諦

はらぎゃてい
波羅羯諦

はらそうぎゃてい
波羅僧羯諦

ぼちそわか
菩提薩婆訶 (般若心経)

夏の盂蘭盆会・施餓鬼大法要、秋の彼岸会大法要では、ご家族の皆様と一緒に般若心経をお唱えいたします。般若心経の経末の呪として示される「羯諦 羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 (ぎゃ〜てい〜ぎゃ〜てい〜・は〜ら〜ぎゃ〜てい〜・はらそう〜ぎゃ〜てい〜) 菩提薩婆訶 (ぼ〜ち〜・そわか)」が、このお経の主題となります。その意味するところを少しだけお話いたします。

般若心経は中国(唐)でインドのサンスクリット語から漢訳されました。羯諦 (gate) の√ gam は行く・移る to go という意味です。それに波羅 (pāra-) が付けば、到達する to reach the end という意味になります。さらに僧 (sam-) が付けば、完全に行きついた、という意味になります。「波羅」を「般若波羅蜜多 (prajñā-pāramitā)」の「波羅 (= 彼岸。到彼岸)」の意味に理解にとり、羯諦 (gate) の -te をここでは Let's に解することが許していただくならば、「羯諦 羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦」は、「みなさま、一緒に幸せになりましょう」という、まわりのお方、他者

の幸せを願うことばになります。他者の幸せを願うことは、とりもなおさず、「菩提」(ぼだい。仏さまの心)であり、「薩婆訶(そわか。may a blessing rest on 私たちの人生に栄光と喜びが満ちますように)」となります。

読経は、ご先祖さま、私たち家族に幸せをもたらせる「呪」(誓約のことば)なのです。般若心経は、ものごとを正しく分析する、般若の智慧を身に付けるお経です。ご家族皆様で唱えてみましょう。



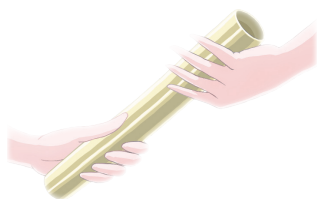
命を繋ぐリレー

お盆の季節を迎えました。

お盆は、ご先祖さまをお迎えし、感謝の心で手を合わせる大切な行事です。

普段は忙しい毎日ですが、この時期になると、亡き方のことを思い出し、あらためてご縁の深さを感じます。

私たちの命は、自分一人だけのものではありません。親から子へ、またその先へと続いてきた、いわば、「命を繋ぐリレー」の中に、今の私たちは生かされています。



今、私たちが生きているということは、これまで多くの方々が懸命に人生を歩み、次の世代へと命をつないでくださったからです。

そしていつの日か、私たちもまた次の世代へと、その命のバトンを渡していきます。

人生の最後にゴールテープを切るその時まで、それぞれが精一杯に生きた歩みは、決してなくなることはありません。

お盆は、その命のつながりに感謝し、「ありがとう」と手を合わせる大切な時間です。

どうぞ今年のお盆も、ご先祖さまを身近に感じながら、穏やかに過ごしてください。

合掌

釈迦寺僧侶 小林 立賢

行事案内(7月~10月)

8月15日(土)、16日(日)

盂蘭盆会・施餓鬼大法要 (お盆の合同法要)

船橋中央	(16日)	10:00	14:00
小室寺院	(15日)	13:00	14:00
	(16日)	10:00	11:00 12:00 14:00
稲毛寺院	(15日)	13:00	14:00
	(16日)	10:00	11:00 12:00 14:00



稲毛寺院 盂蘭盆会

ご参加の人数が多くなりましたので、小室寺院と稲毛寺院は二日間の開催となります。船橋中央は16日のみの開催ですが、ペットのお盆供養が同日開催されます。お申込みいただいた故人様のお名前(戒名)は、塔婆に書いて本堂にて供養いたします。詳しくは同封のお申込用紙をご覧ください、早めにお申し込みください。ホームページからもお申込みいただけます。釈迦寺ではご自宅での個別のお盆法要もお受けしておりますので、お電話にてお問合せください。

9月23日(水)秋分の日

秋の彼岸会大法要 (お彼岸の合同法要)

船橋中央	10:00	14:00
小室寺院	10:00	11:00 12:00
稲毛寺院	10:00	11:00 12:00



船橋中央 秋彼岸会

昨年より秋の彼岸会大法要の申込用紙も敬愛夏号に同封させていただく事となりました。盂蘭盆会をご先祖様のお戻りになる大切な法会、お彼岸はご浄土のある真西に太陽が沈む日で、ご浄土の方向に向かってご先祖様に感謝の心を伝えます。両法会とも大切なご供養となります。盂蘭盆会・施餓鬼大法要の申込書と2枚入っておりますので用紙のお間違いのないようご記入ください。お申し込みは、ホームページからでもできますのでご利用ください。

定例行事(7月~10月)

月例法要 (下記日程の日曜日、午前9時から開式)

小室寺院 7月19日 / 10月18日

稲毛寺院 7月12日 / 10月11日

月例法要では、先祖代々や水子供養、月命日などのご供養を月に一度行っております。各寺院に直接お申込みください。一霊位5,000円

小室寺院 阿弥陀様をお祀りする金色堂のご紹介

小室寺院の各お堂を順番にご紹介しておりますが、今回は二階にある「金色堂」になります。6人用のお仏壇付きの大型納骨壇が左右に配置され、中央に大きな金色に輝く阿弥陀如来さまが鎮座しております。「あみださま」と親しみを持ってよばれるこの仏様は、極楽浄土を作り、臨終の際に行きたいと願う人は迎えに来て連れて行ってくださいます。それが「あみださま」の願い（誓願）なのです。小室寺院にお立ち寄りの際は金色堂の「あみださま」にもお参りしてご加護をいただいでください。同じく6人用壇がある「鳳凰堂」は、新しくできたペットも一緒に入れる納骨堂です。こちらはまだ空きがございますので、ご見学お待ちしております。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



小室 「金色堂」

問い合わせ先

小室寺院 ☎0120-445-380

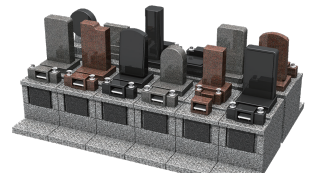


釈迦寺霊園 送迎バスが予約制となりました

東船橋駅から釈迦寺霊園まで土日祝日運行しておりました送迎バスは、本年4月1日（水）より完全予約制となりました。前日までに釈迦寺霊園までお電話にてご予約下さい。平日の運行もいたします。樹木葬「苑墓（えんぼ）」も第二期区画がオープンし好評です。樹木葬は毎年の冥加料もかかりません。立ったままお参りができる新区画「陽（あかり）」も従来より石の使用量を減らして低価格を実現した新しいお墓です。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



釈迦寺送迎バス



色や形が選べるお墓 「陽」

問い合わせ先

釈迦寺霊園 ☎0120-646-100



稲毛寺院 ペットも入れる納骨堂「飛天」が完成しました

小室寺院にしかなかったペットも入れる納骨堂が、ついに稲毛寺院にも完成しました。1階入口付近にあり、お参りもしやすく、天女のステンドグラスや天井画に囲まれた美しいお部屋です。納骨壇も上品な色使いで高級感があります。スペースをゆったり取っていますので、落ち着いた雰囲気でもゆっくりお参りできます。2人用、4人用、6人用家族壇がございますが、ペットと一緒にいることをお考えなら少し大きめの壇がお勧めです。良い場所は順番に埋まっていきますので、お早めのご見学をお勧めします。JR稲毛駅より徒歩5分の好立地にあります。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



稲毛 「飛天」

問い合わせ先

稲毛寺院 ☎0120-787-800



エンジェルペット斎場

〒274-0817 千葉県船橋市高根町 2237

ご希望の葬送や火葬、お迎えなど誠意を持って対応させていただきます



エンジェルペット霊園

〒274-0817 千葉県船橋市高根町 2242

愛する動物たちの安住の地として、ゆっくりおやすみいただけます



ご相談は
こちらから



0120-011-200 <受付時間 9:00 ~ 17:00>

